

# 研究主題

## 子供が主体的に学ぶ授業

～各教科等における本質的な学びを通して～  
(1 / 3年次)

# 研究の概要

- ① 今日的な教育課題から
- ② 岩沼市の現状、考え方から
- ③ 各研究成果から
- ④ 本校の現状、考え方から
- ⑤ 今年度の実践

# ①今日的な教育課題から

「令和の日本型学校教育」の構築を目指して  
～全ての子供たちの可能性を引き出す、  
個別最適な学びと、協働的な学びの実現～

I C T の活用

主体的・対話的で深い学びの実現

各教科等の  
見方・考え方  
(本質)

資質・能力の育成

## ②岩沼市の現状、考え方から

### リーディングDX

#### 【優良校】

- ・岩沼小学校 (2022年)
- ・岩沼西小学校 (2022年)
- ・岩沼南小学校 (2023年)
- 協力校 (2024年)

#### 【先進校】

- ・岩沼北中学校 (2023年)

#### 【先進地域】

- ・岩沼市 (2024年)

～方法選択型探究学習～



教科の本質的な学びが行えているか？  
(各教科等の見方・考え方が働いているか？)

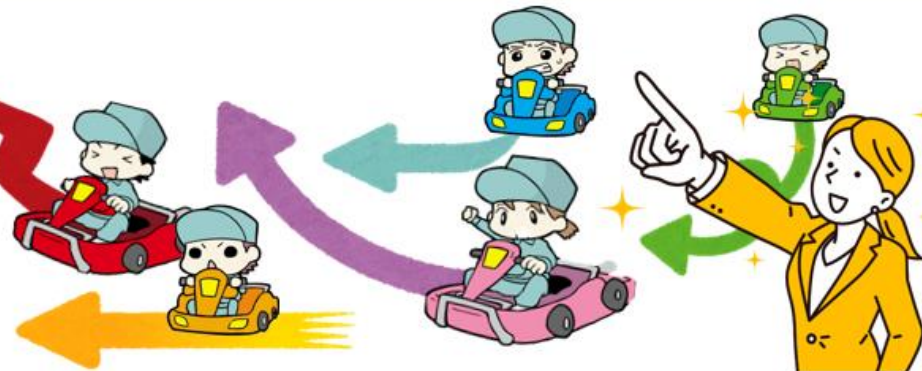
これまで

ゴール



今、これから

ゴール



### ③各研究成果から

学習意欲の向上 + 学習方法の理解

学力の向上

東京大学社会科学研究所 所長 玄田有史  
株式会社ベネッセホールディングス

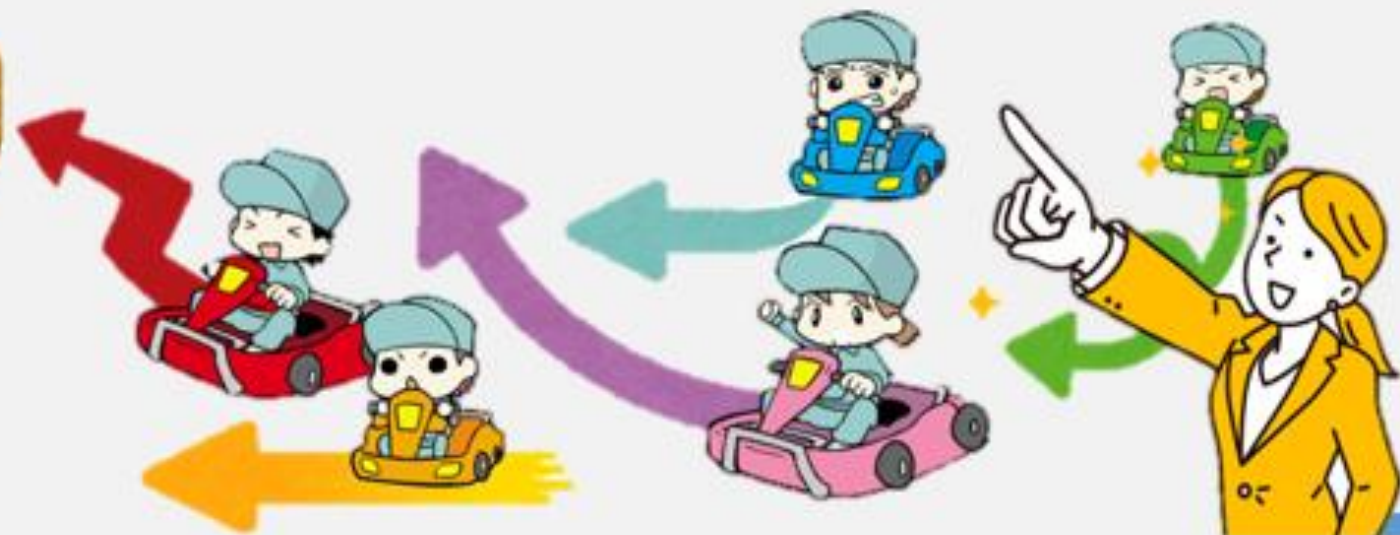
A

学習に対する  
動機付けを行う  
必要性

B

学び方を学ぶ  
必要性

ゴール



学習者には、  
どんな力が必要？

図1 自己調整学習の3つの要素

[https://view-next.benesse.jp/view\\_section/bkn-board/article03405/](https://view-next.benesse.jp/view_section/bkn-board/article03405/)

学習方略

B

認知と「情意」の両面がある。認知的方略は、学習内容を理解するために、より関係づけたりする、記憶や思考に関する方略。情意的方略は、気がない時や学習がうまく進まない時にどう気持ちを立て直し、続けていくのかなど、意欲にかかわる方略。

動機づけ

A

心理的状態によって、行動を起こさせ、維持し、方向づけ、収束するまでの過程全体。自ら学習活動を始めるには、「仕方なく」「やらされて」という外発的動機づけだけでなく、「大切だから」「自分から」「面白い」などの内発的動機づけが必要。単に漢字の読み書きができるだけでなく、楽しさや意義を認め、価値を実感できた時、強固な内発的動機づけとなる。



主体的な  
関与

メタ認知

C

学習計画を立て、進み具合を確認し、その結果を振り返るなど、学習がうまく進んでいるかどうかを観察し、自分で調節していくこと。

\*伊藤准教授提供資料を基に編集部で作成。

# 「自主的」と「主体的」の違い

## 「自主的」

ある程度**決められている**ことを自ら率先して行う態度や性質のこと

## 「主体的」

**自らの意志や判断**に基づいて、自らの責任のもとで行動すること

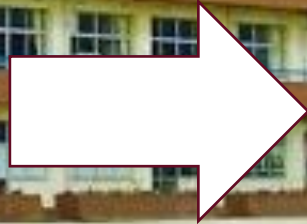
やるべきことを決定するのが  
**自分**であるか**他者**であるかが明確な違い



# 動機づけ

「教師」

単元・一単位時間  
のねらい



変換

「子供」

単元・一単位時間  
でやること







## 学習方略

【自己調整方略】自分に合った勉強のやり方を工夫する

【モニタリング方略】何が分かっていないか確かめながら勉強する

【解き直し方略】テストで間違えた問題をやり直す

【プランニング方略】計画をたてて勉強する

【意味理解方略】問題を解いた後、ほかの解き方がないかを考える

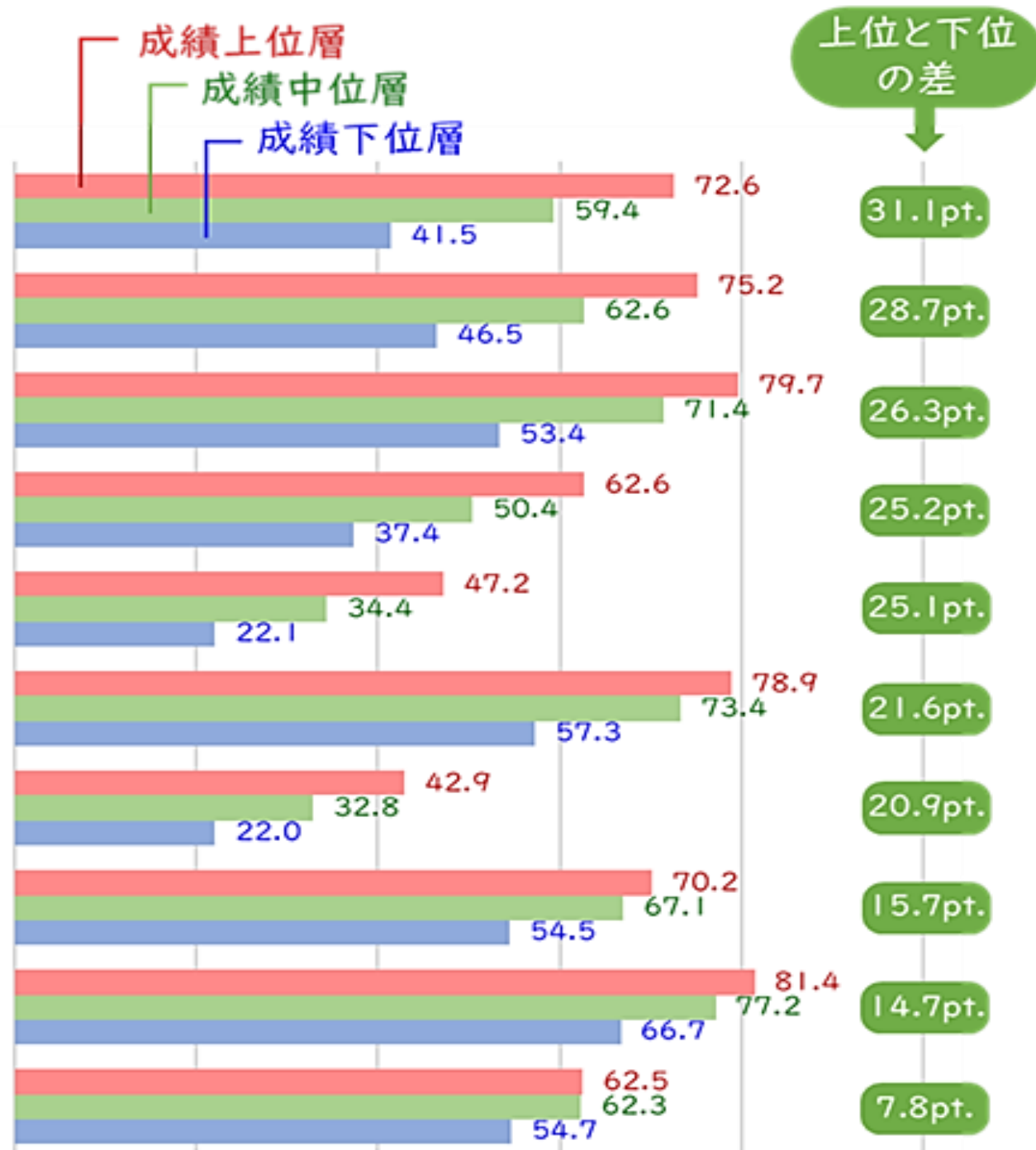
【メリハリ方略】遊ぶときは遊び、勉強するときは集中して勉強する

【深化方略】授業で習ったことを、自分でもっと詳しく調べる

【反復方略】くり返し書いて覚える

【援助要請方略】考えてもわからないことは親や先生に聞く

【社会的方略】友だちと勉強を教えあう



## ④本校の現状、考え方から

### ★学校教育目標★

「いきいきと実践する～」

- ・ 前向きな態度
- ・ 課題意識をもち主体的に

令和6年度努力事項

令和の日本型学校教育の推進

～ICTを最大限活用した「個別最適な学び」  
「協働的な学び」の実現を目指して～

### ★全国学テ★

～全国平均を下回っている～



### ★校内研究の課題★

- ・ ICTの活用
- ・ 主体性、学習意欲の持続

### ★学校評価★

～集中力の持続に課題～

- A 興味をもたせられていない
- B 見通しがもてていない
- C メタ認知できていない
- ・ 聞く力が育っていない
- ・ 学習習慣が身につけていない

# 主題を満たす「要件」

A

【要件1】

学習を行う**動機**があること

B

【要件2】

様々な**学習方略**を理解し使えること

C

【要件3】

学びを**メタ認知**できること

# 要件を受けての「視点」

A

【視点1】

各教科等の見方・考え方を働かせた**動機付け**

B

【視点2】

様々な**学習方略**を駆使した問題・課題解決

C

【視点3】

自他の学びを**メタ認知**させる振り返り

# 要件を受けての「視点」



## 【視点3】

自他の学びをメタ認知させる振り返り

「何をどのように学んだか」「主体性に関わる部分」

認知能力



非認知能力

「継続的」で「変容に気付き」今後に「生かせる」振り返り



可視化、デジタル化

# 要件を受けての「視点」



【視点3】

自他の学びをメタ認知させる振り返り

振り返りシート（配布用）のコピー ☆ 📄 🔄

ファイル 編集 表示 挿入 表示形式 データ ツール 拡張機能 ヘルプ

75% | ¥ % .0 .00 123 | デフォ... | - 10 + | B I ↺ A | 🗑️ 📄 📏 | ≡ ▾ ↓ ↵ ▾ A ▾

A4 | 女

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z				
1	【例】ふりかえりシート											はなす きく	かく	よむ	かんじ ことば															
2	どうだったかな？																													
3	○...4 ○...3 △...2 ×...1																													
4																														
5	①「わかったかな？」「できたかな？」（1～4のすうじをいれよう）																													
6	4	3	4	4	3	2	4																				平均			
7	3.42857																													
8	「わかったかな？」「できたかな？」																													
9																														
10																														
11																														
12																														
13																														
14																														
15																														
16	②「どんなことがわかったか」「どんなことができたか」をかこう																													
17	構成が 分かつ た	見出し をつけ ること ができた	それぞ れの要 点に分 かった	要約で きた	筆者の 書いた ことが わかつ た	書く内 容が決 まらな かつた	いろい ろな方 言がわ かつた																							
18																														
19	③テストのてんすう（ことば、かんじ）																													
20	85	90	100	80	65																						平均			
21	84																													

+ ≡ 書き方の例 ▾ 国語(1.2年) ▾ 国語(3-6年) ▾ 社会(3年) ▾ 社会(4年) ▾ 社会(5年) ▾ 社会(6年) ▾ 算数(1-3



【視点3】

自他の学びをメタ認知させる振り返り

# 要件を受けての「視点」

## 主体性

「意欲」 「見通し」 「調整」 「粘り強さ」 「実感」

生活科

粘り強さ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 二度、三度と繰り返して</li> <li>・ 粘り強く繰り返して</li> <li>・ 見通しを持って</li> <li>・ 目標に向かって</li> <li>・ 手順どおりに行って</li> <li>・ 計画を確実に行って</li> <li>・ 進んで</li> <li>・ 友達のしている方に視線を向けて</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 進んで取り組んで</li> <li>・ 体で表して</li> <li>・ 考えをはっきりと伝えて</li> <li>・ 教師と関わりながら</li> <li>・ 友達と関わりながら</li> <li>・ 様々な人と関わりながら</li> <li>・ 自分のよさを生かして</li> </ul>
学習の調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 気持ちを落ち着けて</li> <li>・ 教師の話を聞いて</li> <li>・ 自分と友達それぞれのよさを生かして</li> <li>・ 友達の話を聞いて</li> <li>・ 友達の思いを理解して</li> <li>・ 友達の考えを理解して</li> <li>・ 教師の支援を受け入れて</li> <li>・ 友達の考えを受け入れて</li> <li>・ 友達と協力して</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相手の立場を知って</li> <li>・ 自分の考えと友達の考えのよさを生かして</li> <li>・ 手本を模倣して</li> <li>・ 教師のやり方を模倣して</li> <li>・ 友達のやり方を模倣して</li> <li>・ 違った考えを参考にして</li> <li>・ 新しいことに挑戦して</li> <li>・ 自分で考えたことを活用して</li> </ul>
実感や自信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 離席せず友達のいる学習の場において</li> <li>・ いつも同じように〇〇しながら（して）</li> <li>・ 友達と仲良くしながら</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 誰に対しても変わらず〇〇しながら（して）</li> <li>・ 周囲の状況に影響されことなく〇〇しながら（して）</li> <li>・ 目標や目的を意識して</li> </ul>

# 要件を受けての「視点」



【視点3】

自他の学びをメタ認知させる振り返り

## 学習のふり返し方 ～学びを明日に生かす3つの視点～

スプレッドシート

①②③：知識・技能



学習内容

(例) 今日は\_\_\_\_\_が分かった (できるようになった)

④⑤⑥：思考・判断・表現



学習方法

(例) 今日は\_\_\_\_\_のやり方で考えた (表した)

⑦⑧：学びに向かう姿勢



主体性

(例) 今日は\_\_\_\_\_学習に取り組んだ



# 研究計画

## ★第1年次★

- 主題・副主題の設定
- 要件・視点の設定
- 実践授業
  - ・各学年部
  - ・指導主事訪問
- 児童・教師アンケートの実施（5月、2月）

## ★第2年次★

- 主題・副主題の修正
- 要件・視点の修正
- 実践授業
  - ・各学年部
  - ・指導主事訪問
- 児童・教師アンケートの実施（5月、2月）

## ★第3年次★

- 実践授業
  - ・各学年部
  - ・指導主事訪問
- 児童・教師アンケートの実施（5月、2月）
- 研究のまとめの作成

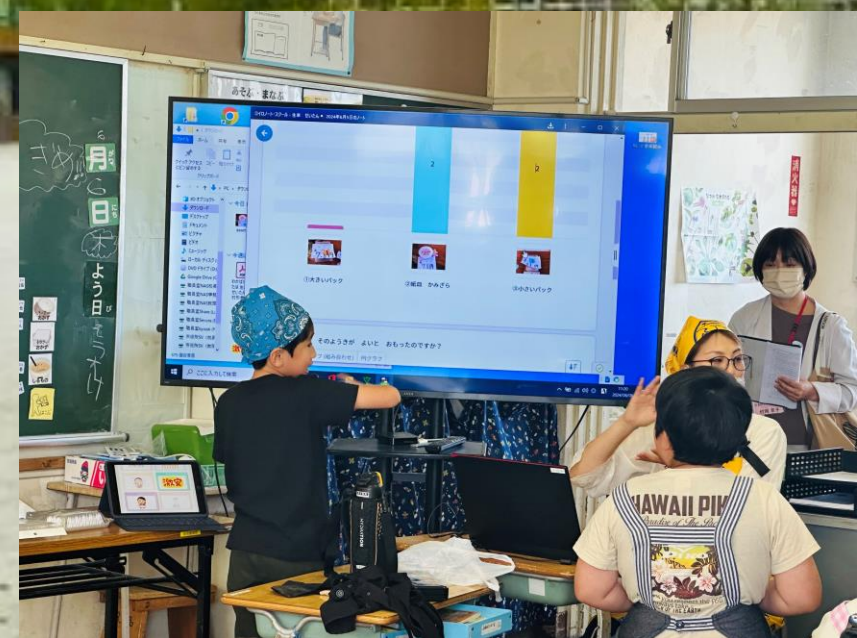
# ⑤今年度の実践

## 第1回校内研究授業（特学年部）

# 生活単元「夏祭りをしよう」

### 本時の目標

「屋台で配る焼きそばの容器を様々な観点から考えて選ぶことができる」



# 第1回校内研究授業（特学年部）

## 生活単元「夏祭りをしよう」

R6\_校内研究\_参観者フォーム ☆ 📁 📄

ファイル 編集 表示 挿入 表示形式 データ ツール 拡張機能 ヘルプ

90% | ¥ % .0 .00 123 | Arial | 11 | B I U | 🗑️ 📄 📄 | 🔄 ⏪ ⏩ | 共有 | 智喜

A14 | 女 教諭

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	
15	教務主任	高橋 舞	A	集中していて、立ち止まる子がいなかった。みんな目的をもって取り組んでいた。学びたいという意欲がよく伝わってきた。	A	「夏祭り」という単元の設定が児童の実態に合っていたのだと思う。ゴールを明確にしているので、それぞれ個々の課題に合わせて目標を設定されているのだと思った。指導案にあった「何食べたい？」という発問はどうして生まれたのかを知りたい。	A	指導案を見て、いろいろな観点で選び取るという学習がいいなと思った。最初と最後の観点のつながりが、Mルームでの視聴でちょっと見取りにくかったため、評価せずでごめんなさい。		
16	教諭	鈴木 恵美	A	先生の声掛けが的確でした。授業に参加していた全ての子どもたちが主体的に動いていたのも印象的でした。授業の中で子供たちの声が多く、教師の声が少ない理想的な授業だったと感じました。	A	やきそばの「容器」に焦点化したことで、考えやすく子供たちの意見もたくさん出たのだと思います。	A	「夏祭り」に向けてただ楽しいだけでなく来てくれる人に対する相手意識を持たせるための手立てが有効だったと思いました。食べることが始まると、なかなか学習に切り替えが難しいお子さんもいると思いますが、適宜教師が問いかけをすることで、学習に向かうことができていると思います。		
17	教諭	吾妻 静恵	A	屋台でやきそばを売るために必要なこととして、目的をはっきりもって活動に向かっていた。	A	屋台でやきそばを売るために必要なこととして、目的をはっきりもってどの容器を選べば良いかと考えながら活動に向かっていた。	B	様々な容器の実物があることで、見た目や分けやすさなど様々な観点で選ぶことができている。パックのふたが邪魔だなという発言は、実物があるからこそ気付きたったと思う。シュミレーションを駆使するという場面は見取りきれなかった。		
18	教諭	渡部 智喜	A	「〇〇したい（意欲）」「うーん、どうしようかな（思考）」「もう一回（ねばり強さ）」「やっぱりこっち（再考、選択・決定）」など、子供が主体的に学ぶ上で私たちが大切にしたい姿がたくさん見ら	A	本時に向けた動機付けは、単元を通して行ってきたものだと感じた。子供たちの「屋台を開きたい」という思いを生かし、各教科で培ってきた力をどう発揮させるかを考え（ねらいの達成）、都度、子供の	B	いくつもある容器の中から子供に三つ選ばせ、その中から「値段」「食べやすさ」「入れやすさ」「人数」「大きさ」など、様々な観点で一つに絞る流れはよかった。一方、それらの観点の中で、子供たちが最終的な選択基準としたのが「食べやすさ」だったように感じる。試食後の投票をする前に、時間はなかったが、再度全ての観点を整理し、決めさせれ	B	実態に合わせて、オを作成したのは大変を見ると、「やるこれと」「どうやって多い。この部分も実を「誰と」「どうや

+ ≡ 特学年部 (6 / 6) | 中学年部 (6 / 24) | 中学年部 (6 / 24) 事後検討会記録 | <

# 第1回校内研究授業（特学年部）

## 生活単元「夏祭りをしよう」

令和6年度 校内研究（一人一実践）授業 振り返りシート（特学年部）

授業日：令和6年6月6日（木）3校時

授業者：村形舞香 青山由紀子

- 1 単元名：夏祭りをしよう～容器を選ぼう～
- 2 本時のねらい：屋台で配る焼きそばの容器を様々な観点から考えて選ぶことができる。
- 3 視点における手立ての有効性、要件

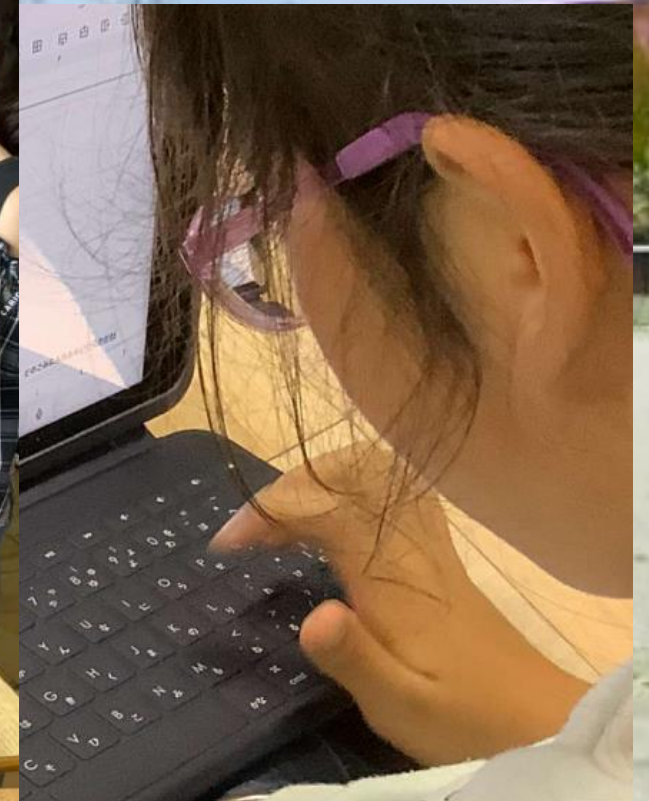
【視点1】の手立て	【視点2】の手立て	【視点3】の手立て
<ul style="list-style-type: none"><li>・形や容量、1つあたりの費用が異なる容器の提示</li><li>・どの観点を重視しているかについての問い掛け</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・事前に調理した実物の使用</li><li>・当日実際に使用する屋台や食事席などの場の設定</li><li>・他のやり方の提案や感想を聞く</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ロイロノートのアンケート機能の実施と結果共有</li><li>・わかば版振り返りシートの使用（誰と・どうやってできたか）</li></ul>
有効性 A・B・C・D	有効性 A・B・C・D	有効性 A・B・C・D
根拠	根拠	根拠
<ul style="list-style-type: none"><li>・最初に候補となる3つの容器を選択させる際に理由を問うと、B児が紙皿を選んで「安いから」「入れやすいから」と発言し、E児はカレー皿を選んで「高いから」と発言した。C児は大きいパックを選んだが、「これこれ」と明確な理由は話せなかった。</li><li>・自分と異なる考えに触れたことで、どの容器が本当に適しているのか疑問を持ったり、自分が選んだ容器の良さを確かめる必然性を生じさせたりすることができた。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・「焼きそばを容器に分ける」活動では、「見た目がやばい（キャベツが焦げている）」、「入れやすい」「トングがうまく使えない」などの気付きが生まれた。</li><li>・「食べる」活動は、B児の「お腹空いた」という発言を受けて提案するという流れにした。どの容器がいいか試す観点で「食べやすい」「おいしい（味）」ということに集中すると、他の観点到に思考を広げさせることができなかった。</li><li>・3つの容器のメリットやデメリットを比較して考えようとする児童が少なかった。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・自己選択の場面で「これでいい？」と聞くことの多いB児がどうやってできたかを振り返ると「おれ全部やった!」と自信が付いたような表情で話した。助言を受け入れることに課題のあるC児は、「話を聞いた」ことで決めることができたと回答した。様々な容器に目移りしていたE児は、「話を聞いた」ことで決めることができたと回答した。このことから、子供が自分の学びをメタ認知させることができたと考える。一方で、なぜその容器がいいと思ったか、根拠が曖昧だったり1つの観点到にこだわったりして自己選択していた。D児は、前時に行った焼きそばの調理については「前やったようにした」と回答した。</li></ul>
【動機付けを行う】要件	【方略を駆使させる】要件	【メタ認知させる】要件
<ul style="list-style-type: none"><li>・最終目的を設定し、単元を通した組織的・体系的な学習を行うこと。</li><li>・めあてを達成するために必要な活動を提案し、児童に自己選択・自己決定させること。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ねらいの達成に最適な教材・教具を選定すること。</li><li>・児童の発言から、気付いたことをアナウンスしたり、他の観点到にも着目させたりすること。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・児童の考えを共有したり、整理したりする時間を確保すること。</li><li>・本時の観点到や学びのプロセスを想起させること。</li></ul>

## 第2回校内研究授業（中学年部）

# 第4学年社会科「ごみのしよりと利用」

### 本時の目標

「ごみの処理の仕方や、分別が必要な理由について疑問を持ち、自ら問いを見いだすことができる」



# 第2回校内研究授業（中学年部）

## 第4学年社会科「ごみのしよりと利用」

令和6年度 校内研究（一人一実践）授業 振り返りシート（中学年部）

授業日：令和6年6月24日（月） 3校時

授業者：横尾 修平

- 1 単元名：住みよいくらしをつくる
- 2 本時のねらい：ごみの処理の仕方や、分別が必要な理由について疑問を持ち、自ら問いを見いだすことができる。
- 3 視点における手立ての有効性、要件

### 【視点1】の手立て

- ・家庭のごみの捨て方との違いに気付かせる資料の提示
- ・ごみの分別の仕方について様々な考え方があることに気付かせる学習活動
- ・ごみを分別する理由について疑問を持たせる話し合い

有効性

A・**B**・C・D

根拠

- ・身近な事例を使用することで、児童が日常生活との関連性を見出しやすくなり、学習に対する関心が高まった。
- ・実物のごみを提示し、ごみの捨て方の違いを視覚的に捉えさせることで、分別の重要性に自然と気付かせる効果があった。このアプローチにより、児童が学習内容を身近な問題として捉えることができ、主体的に学習に取り組む姿勢が見られた。
- ・疑問を広げるために、追加資料の提示のタイミングと量について工夫が必要だった。学習目標に直結する資料を厳選し、適切なタイミングで提示することで、児童が焦点を定めやすくなるのが重要である。
- ・ごみを分別する必要性について疑問を持たせる話し合いでは、より深い疑問を引き出すための発問の質や、児童の疑問に対しての切り返しを高める必要があった。

### 【動機付けを行う】要件

- ・興味を引き出すための身近な事例や資料の提示をすること。
- ・自分たちで調べたり、考えたりする活動を取り入れること。
- ・児童の発言を引き出し、さらに深い探究につながるような発問や問い返しを行うこと。また、そのタイミングを吟味すること。
- ・学習のゴールを明確にし、発達段階に応じた発問やファシリテートを行うこと。

理については「前やったようにした」と回答した。

## 【動機付けを行う】要件

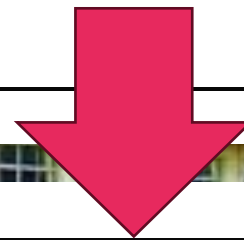
- ・最終目的を設定し、単元を通した組織的・体系的な学習を行うこと。
- ・めあてを達成するために必要な活動を提案し、児童に自己選択・自己決定させること。

## 【方略を駆使させる】要件

- ・ねらいの達成に最適な教材・教具を選定すること。
- ・児童の発言から、気付いたことをアナウンスしたり、他の観点にも着目させたりすること。

## 【メタ認知させる】要件

- ・児童の考えを共有したり、整理したりする時間を確保すること。
- ・本時の観点や学びのプロセスを想起させること。



女子のつと。

## 【動機付けを行う】要件

- ・興味を引き出すための身近な事例や資料の提示をすること。
- ・自分たちで調べたり、考えたりする活動を取り入れること。
- ・児童の発言を引き出し、さらに深い探究につながるような発問や問い返しを行うこと。また、そのタイミングを吟味すること。
- ・学習のゴールを明確にし、発達段階に応じた発問やファシリテートを行うこと。

# 研究主題

## 子供が主体的に学ぶ授業

～各教科等における本質的な学びを通して～  
(1 / 3年次)